

フランス語圏文化学科

1. 教育研究上の目的

フランス語圏文化学科の教育目標は、高度な語学力をもとにフランス語圏の文化の多角的な研究を通して、多様な価値観を持つ世界の中に自らを位置づける視野を獲得させることにある。専門性を活用しつつ、複雑化する社会の中で、自立的に世界を切り拓いて行ける人材を育成することを目指す。

2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

フランス語圏文化学科では、履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「学士（フランス語圏文化学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. フランス語に関して、ある程度複雑な文章にも対応できる文法的な知識を身につけた上で、読解、論述、発話、聴解という各能力のどれもが、実用フランス語検定2級以上の高いレベルに達している。
2. フランス語圏の文化について幅広い知識を身につけ、特に自身の関心ある分野については深く掘り下げた考察ができる。

（思考・判断・表現）

3. 広い視野と多角的な知見に基づいて、文化事象や文学・芸術作品の問題点を探り出すことができる。
4. 調査・研究にあたって、資料や文献を適切に検討・分析して論考を展開するために、柔軟かつ総合的に思考でき、判断ができる。
5. 論考の過程や方法、結果を適切に表現する力を身につけている。

（関心・意欲・態度）

6. フランス語の能力を駆使して、日本とフランス語圏を出発点として、国際的な視野を養っている。

3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

フランス語圏文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成します。

（教育内容）

1. 学修の基礎となるフランス語の修得を行う語学科目と、フランス語圏の文化に関する

知見を広め、かつ深めるための専門科目を体系的に編成する。また、語学科目に関しては、多くの学生が大学で初めてフランス語を学ぶという特性に鑑みて、1・2年次から集中的な学修を図る。さらに、専門科目に関しては、各分野の専門的な知識を得るため、「文学・思想」「舞台・映像」「言語・翻訳」「広域文化」の4つのコースを設ける。3・4年次には専門分野の研究を発展・深化させ、4年次には4年間の学修成果を総合する卒業研究（卒業論文、卒業翻訳、卒業演習）を課す。（知識・技能／関心・意欲・態度）

2. フランス語の思考形態、表現方法を身につけるため、教員による専門分野の講義の他、フランス語文献の訳読を重視する少人数の「演習科目」などを配置する。また、3・4年次では、自身の関心に合わせてゼミを選択し、表現能力、プレゼンテーション能力を養う。（思考・判断・表現／関心・意欲・態度）

（教育方法）

1. CAP制を実施し、1年次から卒業年次まで、卒業のために修得が必要な科目の履修登録の上限を設け、それぞれの科目に十分な学修時間を確保できるようにする。
2. 学生の主体的学修を支援できるよう、アクティブ・ラーニング等の教授手法を積極的に取り入れる。
3. 少人数教育を演習、実習等で実施し、学生の能力・資質に応じた学修ができるようにする。
4. 準備学習（予習・復習）の内容と時間をシラバスに明示し、学生が授業の予習・復習や応用的活動を通じて自律的な学修ができるようにする。
5. 教員のオフィスアワーを設けることで、毎週特定の時間帯に、学生は自由に教員に授業内容の質問をすることができ、履修計画や就職相談など、様々な相談にきめ細かく応じる。

（教育評価）

1. フランス語圏文化学科のカリキュラムの評価は、卒業・進級判定、科目ナンバリング、GPAの活用、在学生調査、シラバス記載内容等の実態把握に基づいて総合的に行う。
2. 学生個人の教育評価は、卒業要件単位数の充足、卒業研究（卒業論文、卒業翻訳、卒業演習）等の評価、GPAによる判定、社会と関わる諸活動の成果等の実態把握に基づいて総合的に行い、学修支援に生かす。

4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

フランス語圏文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基

本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 高等学校の国語、とくに現代文において、文学作品に偏らず、社会・政治・哲学的内容をもった批評文を読み解き、その論の妥当性を判断し、自分の考えを言葉で表現することができる。

(関心・意欲・態度)

3. フランス語圏のみならず、広く外国の文化現象に対して好奇心を持ち、日常的な読書などを通じて、その好奇心を積極的に深める習慣を持っている。

以 上